

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		重心児デイサービスエンゼル					公表日	令和8年2月16日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			・マットの利用児が多い日は十分なスペースを取れないことがある。ベッドやマットの配置の工夫をし、できるだけ安全に過ごせるよう工夫している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			・送迎の時間帯、職員の欠勤等で職員数が足りないと感じることがある。安全なケアができる職員配置ができるよう心がけていく。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		補助便座などを使用し、できるだけ自宅に近い環境での工夫をしています。	補助便座などを使用し、できるだけ自宅に近い環境での工夫をしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・利用児に合わせて環境を変えている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	・パーテーションなどを使用し、プライバシーに配慮している。	・目が届くようにワンルームにしており、個室の確保はできていない。 ・急な発熱時などはパーテーションなどで対応している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・毎月、職員ミーティングを行い、ほとんどの職員が参加し、意見交換している ・毎月のミーティング内で業務改善について職員の意見交換をしている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・自己評価表、モニタリング等で保護者に意向の確認をし、業務改善につなげている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎月のミーティングの開催			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・外部による評価は行われていない。今後検討していく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・職員全員で医療的ケア児等支援者養成研修を受けている。 ・月に1回のミーティングで研修の機会を設けている。			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ホームページに公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・定期的に保護者との面談を実施しており、要望を取り入れた計画づくりをしている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・児発管だけでなく、保育士、児童指導員、看護師、理学療法士が協働し支援している。 ・担当を分けて計画しており、担当月に職員ミーティングで情報共有している。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・日々の記録も、計画書に沿った評価を行っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・遠城寺式乳幼児分析的発達検査等を用いて、発達の評価を行っている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・設定されている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・ミーティング等で活動内容の意見交換を行っている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・年間計画を立て、活動が固定化されないように工夫している。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・ケアの時間等も配慮し、個別、集団活動の計画を立てている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝のミーティングでその日の支援や分担を把握している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	・終了後ではなく次の日の朝に行っている。 ・共有しなければならない内容はノートに記録し共有されている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・個別支援計画に沿った日々の記録を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・自己選択は難しい場合が多いが、声掛けを行い、表情の変化など見落とさないよう工夫している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・事前に職員から聞き取りも行き、児童発達責任者が担当者会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・保護者を通して医療からの情報を得ている。 ・必要に応じて、主治医や訪問看護、学校等とも積極的に連携をとっている。	・数回はしているが全ては整っていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・保護者を通して、年間行事、予定の把握を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・入学前に意見交換し、お互いの評価が同じか相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		・数回はしているが全ては整っていない。 ・対象者がおらず不明
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		・センターとして助言をいただいたことはない。今後機会があれば、ぜひアドバイス等いただきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		・長期休暇等を利用して、地域の子供たちと交流できる機会を作っていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		・参加できていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時や連絡帳アプリ、写真を使い、日々の様子などをわかりやすくお伝えできるように工夫している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・研修など保護者向けに行っていないが、日ごろから情報提供を行っている。	・保護者会を行っているが研修会は行っていない。今後は保護者のニーズの聞き取りを行い研修会も企画していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用開始時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者から聞き取りを行い、計画に反映できるよう努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・面談や送迎時に計画書の説明を行い、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・送迎時定期的な面談等でよく話をし、悩みなどに必要な助言、支援ができるよう心がけている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者会やクリスマス会で交流する場を設けている。	・兄弟同士で交流する機会がまだ作られていない。 ・クリスマス会など季節の行事の声掛け ・保護者同士の交流を支援するところまでは至っていない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・保護者からの相談等あった場合、適切な専門職が返答できるよう対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		おたよりやSNSを使用して発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・同意書を取り、配慮している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・連絡帳アプリやLINEなども用いて、コミュニケーションが取りやすいよう配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・感染症の心配もあり、地域との交流は行っていなかったが、時期、感染対策等の工夫をし、地域の方々と触れ合える機会を作っていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			・各マニュアルは作成済、保護者への周知を徹底し、保護者も一緒に訓練に参加できるように企画していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・定期的に訓練を行い、見直しを行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・年に1回のアセスメントシートの見直しにて、確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		・アレルギーの確認は保護者から行っているが、医師からの指示はない。保護者からの持参、許可を得たもの以外、事業所では提供していない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成。研修、訓練を適宜行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			・保護者への周知が不十分であった。保護者会等で周知できるようにしていきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・月に1回のミーティングで ヒヤリハット、インシデントの振り返りを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止研修を年に2回行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・身体拘束の計画、評価を行い、同意を得て、児童発達支援計画に記載している。		